

アンケート

今日は地方の職場でお勧めの方から貴重な御回答を、次の三点について戴きました。

① 今のお仕事で一番楽しい事は。

② 職場に於ける婦人の地位について。

③ あなたの今の職業を望む後輩へ、助言一つ。

横山弘子 (二三回生)

家裁調停員

① 家裁の調停に於て、中立人と相手方と相方満足の解決を得、犠牲になるべき子供が幸福に処置された時。

② 私の職場の場合 (調停員) 特に問題はありません。

③ 何か一つ正しく高い強い信仰を持つている事が望ましい。

棚橋波木 (二八回生)

愛知県児童福祉司、婦人少年局

愛知職員室の協助員。愛知県社会教育講師。

供も。

① 仕事にしばられない事。

② 男性と同等である。低くない。

③ 家庭をもつ、子供を育ててみる。サ

ビスの精神のある人。

田代秀 (二九回生)

榎名女子学園教務課長

① 人間の心理がよくわかる事。

② 一般的に云えば仲々女はまだ責任の位置につく力がないと思う。苦労しなければならない。

③ 精神的にも肉体的にも相当つらいけれど女子の力をのばす (し得る) ところは非行少年教育にある。元気を出して進出してほしい。

大野洋子 (三九回生)

保育園保母

① ○親が安心しきつて子供を保育所にあ

ずけている。

○登園をいやがらず、皆、張り切つている事が望ましい。

② ななかな今日本の日本社会では口ではいつてもまだまだ理想には程遠い感ですが、やはり一般的には婦人がもつともっと仕事に

○園児が、入園当初にくらべて、保育園生活になれ、実際保育をしていて、非常に、運営が容易になつた。

○保育所存在の意義が、やつと一般地域社会に認識されたこと (開園して、十五年目に)

○園長以外は全部婦人、しかも未婚の人半数で、仲々ほがらかに過ごしている。自分の年を忘れる事が多い。しかし若い保母の間には、団結、組織と云う観念がうすいようである。結婚と云う事が、影響するのではないか。

○理論と共に、実際技能を充分修得しておく事が望ましい。

高木君子 (四六回生)

神戸市教育委員会社会教育課婦人教育係

① 仕事の性質上何か一つの事業を計画しているとき。

アンケート

責任と熱を持つことが大切です。やはり実績をあげつづ社会的に社会の人々に理解してもらえるよう、これは皆で力を合せて世論を高めることだと思います。

(3) 何かこれなら私に出来るというものを持つこと。又は何か研究題を持つこと。

(4) 少なくとも四年はつとめるという気持ちをもつ。これが一番大切だと思いま

す。

原 澄 子

(新制二回生)
敦賀地方児童相談所

の点は恵まれていると思います。
(3) 私達卒業生はもう少し社会福祉事業又は児童福祉事業面へ進出して戴きたいと思いません。

（4）私は今の仕事で一番楽しい事つて何だろう」と頬杖ついて考えます。常に新しい気持で子供に接しています。

工 藤 嘉 子

(新制三回生)
秋田市、高清水学園

（1）「楽しい事」と正面切って言われても面喰らうばかりです。「今の仕事で一番樂しい事つて何だろう」と頬杖ついて考え

む私は今の仕事を無意識的に楽しんでいる。所謂良く職場に適応しているか、又は

本当に楽しい事なんてあまりなくて楽しくないことに慣れ切つてしまっているのかどう

一寸意味がはりますが）問題児の診断、つちかでしよう。ただ後者にはなりたくない

指導にあたつている場合、診断が適切だと思われる場合、ケースワークが成功した場合が嬉しいです。この場合経過を長期にわたりつてみなければならないので、時々しか

思つて仕事に楽しさを求めて下さ

（2）今、の仕事で一番楽しい事（楽しい事と

（3）職場といつても小集団の施設ですの

（4）（a）職場に於ては、概して低い。
(b) 相談所に於ては、他所より低くない

（5）当所長は女性（育児科三回生）であり仕事自身がケースワークという、女性に通した仕事なので、他の県庁職員の雰囲気にもみられるような処は全くありません。こ

×
×

慣例でそう云う傾向が見られる様です。

（3）どこでもそうだと思いますが、特に社会福祉事業に携る人は、その仕事に対しまンネリズムに陥る事が一番危険な事だと思います。常に新しい気持で子供に接したり、又、社会からあぶれた人々に接する

ことが大切だと思います。

内 田 節 子

(新制五回生)
岡山県津山児童相談所、判定指導

（1）（a）面接で相手と意志が通じた時が一番楽しく感じる。

（2）（a）職場に於ては、概して低い。
(b) ケースについての研究会。

（3）児童問題を扱う方面への女子の職場は働き易いので、特にこの種の問題に関心のある人の進出を望みます。本当に関心がないと適切な仕事は出来ません。（人間関係の調整に於て）。